



全国学力・学習状況調査結果と学力向上対策

白水台地の陽光「さん」



本年度4月に実施した全国学力・学習状況調査(小6対象)の調査結果の概要と今後の学力向上の取組等についてお知らせします。なお、全国学力・学習状況調査は、下記の目的により行われ、学力の一部であり、学校における教育活動の一側面を表し、この結果が学力の全てを表すものではありません。ご不明な点やおたずね等ございましたら、学校へご連絡ください。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

2 学力調査の結果(本校の概要)

- 国語・・・平均正答率は全国平均を大きく上回った。
- 算数・・・平均正答率は全国平均を少し上回った。

3 学習状況調査の結果(本校の概要)

学習意欲や生活の諸側面等に関する質問紙調査(児童生徒)の概要は次のとおりです。

〈望ましい傾向 全国平均を上回る〉	〈改善したい傾向 全国平均を下回る〉
○いじめはどんなことがあってもいけない	△計画立てて勉強している
○人の役に立つ人になりたい	△夢や目標を持っている
○地域の行事に参加している	△家で学校のことを話す
○外国についてもっと知りたい	△授業以外でどれだけ勉強しているか

4 全国学力・学習状況調査を受けての今後の取組と家庭へのお願い

国語・算数ともに、全国平均を上回ることができましたが、誤答や無回答だった問題については、全職員で共通理解を図り、授業や補充学習で対策を実施していきます。学習状況調査の結果から課題と考えられるのは、夢や目標を持たせたり、計画的に家庭学習をしたりすることです。そのことについては、家庭と連携しながら進めていく必要があると思います。ご家庭で、学校の話題が少ないことにつきましては、お忙しい中ですが、時間をつくっていただき、学校での学習や生活の様子を尋ねてもらうとありがたいです。

5年生水俣学習・集団宿泊教室

9月13日(金)・14日(土)の1泊2日で水俣学習と集団宿泊教室に行ってきました。水俣の学習では、水俣病資料館と環境センターでの学習と、語り部の緒方正実さんの講話を聞きました。子どもたちは常に集中して、水俣病のことについて真剣に学習していました。あしきた青少年の家では、初めての宿泊で、少々苦勞をしている様子はありませんでしたが、自分の生活を見直したり、家族に感謝したりするよい機会になりました。マリン活動でペーロン船にりましたが、協力する大切さを学ぶことができたと思います。5年生の更なる成長に期待します。



バックスマーシュー(オーストラリア)の高校生との交流

17日(火)の午後に、全校児童で交流を行いました。6年生が中心になり、進行と交流の説明をしました。5時間目は、全校児童を4班に分けて、①花いちもんめ ②だるまさんが転んだ ③フルーツバスケット ④お手玉の遊び、を一緒にしました。6時間目は、5・6年生が、鼻ぐり井手ボランティアガイドを行いました。担任の先生方の助けを借り、英語を交えながら、子どもたちなりに工夫し説明していました。オーストラリアの高校生は大喜びで、引率の先生方も感動されていました。

